

分野	項目	凡例	①地区医師会モデル			②訪問看護ステーションモデル	③医療・介護等一体提供モデル	④認知症対応モデル	⑤単年度モデル		
			安城市	豊川市	田原市	新城市	豊明市	半田市	岡崎市	豊田市	北名古屋市
関係機関のネットワーク化	地域包括ケアの理解 課題認識の共有  (目安:関係機関連絡 会議を年3回以上開催)	◎(目安を上回って開催) ○(目安どおり開催) △(目安を下回って開催)	◎	○	◎	○	◎	◎	○	○	○
	社会資源、住民ニーズの把握  (目安:医療機関、介護 施設、高齢者ニーズ の調査実施)	◎(目安を上回って把握) ○(目安どおり把握) △(目安を下回って把握)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○
医療と介護の連携	ICTシステムの活用  (目安:ICTを活用したシ ステムの設置)	◎(ICT活用促進を検討) ○(ICTを導入) △(ICT導入を検討)	△	○	◎	○	◎	△	△	△	△
	顔の見える関係づく り、資質向上  (目安:多職種研修会 (ワークショップ等)を2 回以上開催)	◎(目安を上回って開催) ○(目安どおり開催) △(目安を下回って開催)	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎	○
	住民への普及啓発  (目安:講演会等を1回 以上開催)	◎(目安を上回って実施) ○(目安どおり実施) △(未実施)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○
総 括			地区医師会と連携し概ね順調に各事業に取り組んでいる。	地区医師会と連携し概ね順調に各事業に取り組んでいる。	地区医師会と連携し概ね順調に各事業に取り組んでいる。	訪問看護ステーションと連携し、概ね順調に各事業に取り組んでいる。	藤田保健衛生大学と連携し、概ね順調に各事業に取り組んでいる。	認知症対策は概ね計画どおり実施しており、各事業にも順調に取り組んでいる。	地区医師会と連携し、概ね順調に各事業に取り組んでいる。	地区医師会と連携し、概ね順調に各事業に取り組んでいる。	地区医師会と連携し、概ね順調に各事業に取り組んでいる。
			今後は、関係機関連絡会議での地域課題の検討の充実やICT導入の検討の促進が必要。	今後は、ICTシステムの一層の活用や地域ケア会議の充実が必要。	今後は、厳しい医療資源の状況の中、ICTシステムの一層の活用等在宅医療・介護連携のさらなる強化が必要。	今後は、訪問看護ステーションを中心に山間地域としての、さらなる取組の促進が必要。	今後は、モデルの特性を活かし、在宅医療、介護サービスの一層の充実に向け、さらなる取組を進めていくことが必要。	今後は、認知症対策の取組を進めていくとともに、ICTを活用した在宅医療・介護連携の促進が必要。	今後は事業の成果を踏まえて、在宅医療の強化、予防、生活支援、住まい等、システムの構築を進めていくことが必要。	今後は事業の成果を踏まえて、在宅医療の強化、予防、生活支援、住まい等、システムの構築を進めていくことが必要。	今後は事業の成果を踏まえて、在宅医療の強化、予防、生活支援、住まい等、システムの構築を進めていくことが必要。